

オピニオン

うらみなり

投書欄

ヤップのお嬢さんたち

中島 洋

横浜市で永久保存されることになった日本丸の一般公開記念行事に参加するため、太平洋学会の招きで、去る四月二十五日、ヤップから十二名の女性ダンス・グループが来日した。

一行を引率したのは、ガギル地区の元大酋長ピトマグ氏と、副団長のヤッド氏であったが、小生は一行離日の五月七日まで十二日間、滞日中のお世話役として、ほとんど行動を共にしたので、その感想の一端を記しておきたい。

十二名全員が、ヤップで最高位のガチャバル村の女性で、うち九名は未婚、さらに、その八名が十七歳から二十一歳までのお嬢さんたちであったが、一行には現ガギル大酋長フィティングモウ氏の二十一歳（既婚）と十八歳の二人のお嬢さんも含まれていた。

団長のピトマグ氏は三度目の来日、副団長のヤッド氏は二度目の訪日であったが、女性は十二名全員が日本は初めて。しかも一人を

除いてはヤップから外に出たのが初めてという話であった。そして来日の第一印象は、着いたのが夜だったためもあって、まず「寒い」ということであった。

夜おそく、宿舍の横浜海員会館に着き、「みなさんの泊まる部屋は六階です」と説明すると、「六階？」と不安な顔を見せる子もいる。ヤップでは一番高い建物でも二階建てなのだ。

翌日は、市庁舎に細郷横浜市長を表敬訪問し、午後は、ラジオ日本との打ち合わせ前のひとときを、野毛山の動物園に遊んだ。ゾウもキリンもカンガールも、実物を見るのは初めてで、特に、見物人に愛嬌をふりまくゴリラには大笑い。夜は五月二日夜の「港まつり前夜祭パレード」参加の下見を兼ねて、伊勢崎町で初めてのショッピング。早速、カメラを買ったのが三人。

次の日、京浜東北線で東京へ出て、観光バスで東京ディズニールランドへ行った。午後になって雨になったが、朝から曇天で肌寒く、一行は小西写真工業提供のハッピーを羽織っていた。入口で東京ディズニールランドの職員が「ハッピーの入場は認められないから、全員ハッピーを脱いでいただきたい」と、非人道



太平洋学会レセプションでの
ピトマグ団長（中央）



細郷横浜市長を表敬訪問した一行。前列左からラグルマー FSM
東京連絡事務所長、細郷市長、ピトマグ団長、ヤッド副団長
（写真・神奈川新聞社）

的な強制。すったもんだの末、裏返しに着るなら入場を認めるといふ、何とも奇妙な妥協を得た。

しかし中へ入ると、事情を知らない社員が飛んで来て、「お客さん、裏返しですよ」と親切に教えてくれる。「あなたの会社の命



日本丸アリーナに勢揃いした一行。後方にヤッド副団長の顔が見える。

令で、裏返しに着ているんですよ」と説明すると、「えっ、本当ですかあ？」と嘖然としている。誰もが嘖然としようが仕様がないう。結局、六時間半、裏返しハッピーで通さざるを得なかった。

夕方、銀座をちょっと散歩し、そのあと、渋谷の東急ゴールデンホールで、太平洋学会有志によるレセプション。ピトマ、ヤッド両氏とも、飲食に際しては、父祖伝来の首飾りを首からはずす。わが身より高貴な首飾り越しに飲食するのは、首飾りに対して礼を失することになるといふ説明に、一同敬服。

翌二十八日正午から、横浜高島屋の屋上で第一回のダンス。二十九日は午前十時五十分から「日本丸アリーナ」でダンス。その夜山下町のディスコへ。たちまち、日本の若い男女と友だちになり、住所や名前の教えつて。もうこの辺りから、初めは六階と聞いただけ



横浜の大通り公園でのバンブーダンス

で不安気な顔を見せた子も、七階のラウンジから夜景を楽しむようになり、勝手に元町へジョッピングに出かけるグループがあるばかりか、ディスコ通いをするグループさえ出て来た。ものすごく適応性である。

以後、四月三十日の富士・箱根ツアー、五月四日の東京見物を除いて、五月一日、五日の大通り公園、五月二日の港まつり前夜祭パレード（特別賞受賞）、五月三日午前と午後日本丸アリーナにおけるヤップ・フェスティバルと、連日、ダイナミックなヤップの踊りを披露した。

彼女たちに感心したのは、ピトマ、ヤッド両氏の監督よろしきを得たこともあるうが、実によく働き、よく練習することであった。五月三日には、午前の部と午後の部の間の昼休みに練習していたし、五月四日の夜は、東京見物から十時すぎに帰って来たのだが、すぐ次の日のための練習をしていた。

横浜海員会館には、三階と四階に洗濯機があつて、各自、それを利用して洗濯ができるようになっていたが、一度、簡単に説明しただけで、全員がうまく使いこなしていたのも一驚であつた。

また、ヤップで踊る場合は、頭や腕の装飾にヤシの若い葉を用いるのだが、日本にはヤシがないので、干した葉をヤップから持参し、それを使いやすくするために、暇を見つけては、プラスチックの板でしごいているのにもその生活の知恵と勤勉さに感動せざるを得なかった。

さて、ヤップ女性の盛装は、腰みの（オン）にトップレスだが、日本の四月末から五月初めにかけての風は、彼女たちにはまだちょっと肌寒く、完全にトップレスで踊ったのは二

回だけであった。

ビトマグ氏（66歳）によれば、「美しい女の人は、顔だけ見てもきれいですが、胸も出していけば、もっときれいに見えます。つまりヤップでは、乳房も耳や鼻と同じようなもので、他人の耳や鼻をじろじろ見る人がいないように、女性の乳房をじろじろ見る人はいないですよ。昔は日本だって、女の人は赤ん坊にお乳を飲ませる時など、誰の前でも平気で乳房を見せていたじゃありませんか」とのこと。

五月七日、彼女たちは全日程を終えて成田を発った。病気になった人が一人もいなかったのは何よりであった。そして、日本で盗難にあった人がいなかったのも良かった。彼女たちが電車やバスに乗る時、人込みを歩く時、私はいつも「モロロ（ヤップ語でドロボーのこと）に気をつけなさい」と、言い続けていることから。

南洋群島か

南洋諸島か

財団法人南洋群島協会は、昨年『南方年鑑（昭和十六年版）』から『南洋群島職員録』を復刻刊行したが、その巻末に、同協会理事小菅輝雄氏の「南洋群島か南洋諸島か」という文を載せた。そして、これを応援する形で本年三月発行の『南洋群島協会報』（第148号）に、安東正夫氏による同題の一文が寄せられ

ている。

両氏の主張は、旧日本委任統治領ミクロネシアの呼称は、あくまでも南洋群島であって、近年しばしば用いられる南洋諸島は誤りだし、また、マリアナもマーシャルも、諸島ではなく群島だとするものである。

ここに両氏ならびに南洋群島協会のご了解を得て、両文を転載させていただき、本会員各位のご参考に供したい。

△太平洋学会事務局▽

南洋群島か南洋諸島か

小菅 輝雄

小菅（コスゲ）がコスガであっても困るし、まして小菅先生なんてお手紙を頂くとイヤな気がするものです。

固有名詞の呼名は先祖から頂いたもので、新しい世の中になったのだからコスゲでなくとも良いのだなんて事を云われても、本人は納得出来ません。

同様に「南洋群島」は「群島」であって、「南洋諸島」ではないのです。

最近、著名な作家でも、南洋群島の島の呼称を、間違っって平気で書いているので、今回、戦前を知る私が、先祖から頂いた島の日本語の名前をはっきりしておきたいと思えます。

特に、「マーシャル群島」は、マスコミの間で「マーシャル諸島」と呼称されて、まかり通って居る事はなげかわしい次第で、昔、

正しい呼名	間違いの呼名
南洋群島	南洋諸島
マリアナ群島	マリアナ諸島
マーシャル群島	マーシャル諸島
パラオ諸島	パラオ島
トラック諸島	トラック島

「マーシャルに住んでいた人々は、今でも「マーシャル群島」と云って居り、南洋で流行した歌の文句の中にも「**マ**マーシャル群島」云々」の文句が出て来ます。

昔、十年の歳月をかけて詳細精密に作った「南洋群島教育史」南洋群島教育会編の八〇三頁の次の付録の地図が昭和十三年四月末日の島名地名を正確に伝えて居りますので、本誌に掲げてご参考とします。

× × × × × × × × × ×
私が敬愛する岩波書店発行の「**広辞苑**」（第二版補訂版）を見ると、

群島 群集している島々「マリアナ」
諸島 二つ以上の島の集団「伊豆」

とあります。ところが驚いた事に③の項をひいてみると

マリアナ・しよとう 「一諸島」
マーシャル・しよとう 「一諸島」

とあり、つまり、大「**広辞苑**」でもその使い分けをミスしておるのであります。

マーシャルは、太平洋諸島の中のマーシャル群島であって、太平洋の地図を上から眺め